

# 算数動画とテキストを用いた OJTによる若手教員研修

京都教育大学教育学部  
黒田恭史

# アウトライン

- (1) テキストを作成したわけ
- (2) 算数動画とテキストの連携
- (3) これからの学習支援のあり方
- (4) 歴史に学ぶ

# 教員からの一通のメール

送信日時 2021年05月05日(水) 11:37:06

黒田 恭史 先生

こんにちは。いきなりのメールで失礼します。私は\* \* 県で\* 年間、現在、熊本県で\* 年間小学校教諭をしています、\* \* \* \*と申します。yahooニュースで黒田先生の算数動画の記事を読み、動画を拝見させていただきました。不躰ながら、感想をお伝えしたくメールをしました。

先生の算数動画を見て、とにかく感動しました！子どもから見た分かりやすさはもちろんですが、現役教員が見ても大変勉強になる動画だと思います！

私は現在、中堅教員として若手教員にも教える立場にありますが、日々自分のクラスで手一杯の中で若手に助言する暇もなく(若手教員の方がなお忙しそうでもあり...)さらに各教科について細かく話す時間など取れるはずもなく...という具合です。

ですが、先生の動画を見れば授業のポイントや「めあて」「課題」「ノートの書き方」も分かるので、若手教員の予習にもってこいだと思いました！もちろん私も勉強させていただきます！早速、明日、職場の先生方に教えて回ろうと思います！

また、クラスの子どもたち(6年生)にも予習・復習に最適だと伝えたいと思います。

余談ですが、私の教える小学校も一人一台PCが今年ようやく導入され、教える私たち教員ももっとICTに関して裾野を広げていかないといけないなあと感じているところです。子どもたちの未来のためにどんな力をつけさせなければいけないのか...教員の予習力も必要ですね。

# 校長先生からの一通のメール

送信日時 2021年05月11日(火) 18:23:02

京都教育大学 教育学部 数学科 教授 黒田 恭史様

初めまして、兵庫県\*\*市立\*\*小学校 校長\*\*\*\*と申します。  
黒田先生と一緒に学ぼう！15分でわかる小学校算数授業動画を拝見させていただきました。子どもの学びに最適な、わかりやすくコンパクトな動画です。

現在本校でも、新型コロナウイルスの影響を受けて、自宅待機をしている児童が複数名います。また、外国ルーツの日本語の習得がまだ不十分な児童もいます。

児童一人一台タブレット端末が導入されたことにより、今まで以上に児童の学習支援がしやすい環境が整ってきました。しかし、学びのためのコンテンツが少なく、先生たちもいろいろ工夫はしているもののかなり苦労しています。

ぜひ、このリンクを利用させていただき、子どもたちの学びを途切れのないものにしていきたいと思います。

# アウトライン

(1) テキストを作成したわけ

(2) 算数動画とテキストの連携

(3) これからの学習支援のあり方

(4) 歴史に学ぶ

# テキストの実際 1

6年

資料の調べ方



データの活用の領域が新設され、新しい教育内容を小学校で扱うことになりました。6年生の資料の調べ方は、新たな内容が多く入った単元ですので、事前の準備が大切です。各用語の意味をしっかりと理解した上で、問題設定、実験・実測を積極的に取り入れた指導の方法について解説します。

こんな指導、していませんか？

度数分布表やヒストグラムといった内容は、今回の学習指導要領で新たに取り入れられた内容ですが、十分な理解がなされないままに指導をしていませんか。データの活用の領域の内容は、今度もさらに充実していく方向性となることから、教育内容に対する確かな理解と、適切な指導のあり方が求められます。併せて、与えられたデータを分析するという姿勢だけではなく、PPDACサイクル (Problem, Plan, Data, Analysis, Conclusion) を踏まえた教育実践が大切です。

- T ヒストグラムと棒グラフの違いは何ですか。
- C ヒストグラムは棒同士がくっついていて、棒グラフは隙間があります。
- T ほかに違いはありませんか。
- C ヒストグラムは面積で大きさを表し、棒グラフは高さで大きさを表します。(どっちも同じになる気がするんだけど)

( とれたて卵 )

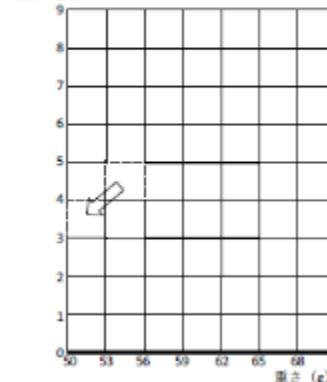
|        |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|--------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 番号     | ①  | ②  | ③  | ④  | ⑤  | ⑥  | ⑦  | ⑧  | ⑨  | ⑩  |
| 重さ (g) | 60 | 54 | 67 | 60 | 52 | 57 | 63 | 66 | 64 | 53 |
| 番号     | ⑪  | ⑫  | ⑬  | ⑭  | ⑮  | ⑯  | ⑰  | ⑱  | ⑲  | ⑳  |
| 重さ (g) | 65 | 53 | 56 | 68 | 53 | 54 | 50 | 66 | 51 | 65 |



( とれたて卵 )

| 重さ (g)      | 度数 (個) |
|-------------|--------|
| 50g以上～53g未満 | 3      |
| 53g以上～56g未満 | 5      |
| 56g以上～59g未満 | 2      |
| 59g以上～62g未満 | 2      |
| 62g以上～65g未満 | 2      |
| 65g以上～68g未満 | 5      |
| 68g以上～71g未満 | 1      |
| 合計          | 20     |

度数 (個) ( とれたて卵 )



# テキストの実際2

## 「資料の調べ方」の教え方

### (1) PPDCAを意識した教材開発を行い、科学的視点を培う授業につなげる

教科書には、統計に関するデータが予め示されていますが、データの活用の学習では、何の目的のために、どのようなデータを、どのような方法で取得し、どう分析するのかという全体像を起案することが最も重要です。その意味で、自ら課題を見出し、科学的方法を用いて、課題の解決や解答に接近するといった、PPDACサイクルを意識した授業づくりが大切です。

- T 今回は、身近な卵を題材に考えていきましょう。
- C スーパーにはS、M、Lなどに分けて卵が売っていますが、卵の重さはおおよそどれくらいになるのか調べたいと思います。
- T 具体的には、どのように調べますか。
- C まず、一つ一つの卵の重さを測って、表を作成します。次に、代表値としての、平均値、中央値、最頻値を求めます。予想としては、ある程度大きさも揃っているの、同じような値になると思います。

様々な代表値やグラフを学習しますが、単にその値の求め方やグラフ作成の仕方だけを習得させるのではなく、それぞれの代表値やグラフの特性を理解し、データの特性に応じた適切な代表値やグラフを選択することができる能力を身に付けさせることが大切です。

- T ドットグラフは、どのような場合に有効なグラフですか。
- C 連続的にいろいろな重さのある卵の場合には、ドットグラフに表すことで、おおよその重さの傾向を知ることができます。
- T では、度数分布表、ヒストグラムは、どうですか。
- C ドットグラフを基礎資料として、階級の幅を設定することで、その特徴をより強調することができます。また、階級の幅の設定の仕方を変えることで、グラフが変わるので、適切な階級の幅を設定することも大切です。

### (2) ヒストグラムの活用により、精緻な表現ができることの指導を行う

棒グラフの延長としてヒストグラムを捉えさせるのではなく、階級の幅を自由に変化させたり、大きさを面積で表したりすることで、目的に応じて状況の正確な表現が可能となるといった、ヒストグラムの特性を踏まえた指導が大切です。

- T 卵の重さを測ったデータをもとに、階級の幅を3gにして、ヒストグラムを作成しましょう。
- C ヒストグラムは重さが連続なので、棒同士をくっつけて作成しました。T では、50g～56gの階級の幅だけ6gにしましょう。
- C そんなことをしたら、階級の幅を6gにしたところの卵の個数だけが増えて、そこだけグラフが極端に高くなってしまいます。

このように、一部の階級の幅を変化させたヒストグラムも取り上げます。

- T ヒストグラムは、何によって大きさを表していますか。
- C 面積によって大きさを表しています。
- T 階級の幅を2倍の6gにしたところは、x軸を他の2倍の長さにしてヒストグラムを作成しましょう。
- C そうか。一つの階級の幅が3gの1つの方が卵3個で、もう1つの方が卵5個の場合は、8個を上重ねるんじゃないかと、x軸を2倍にしたから $8 \div 2$ で4個の高さにすればよいので、極端に高くないのか。

#### Point !

- ・課題設定から始めるPPDACを踏まえた指導をすること
- ・代表値やグラフの特性を理解し適切な活用につながる指導をすること
- ・度数分布表やヒストグラムを用いた高度な分析を指導すること

# アウトライン

- (1) テキストを作成したわけ
- (2) 算数動画とテキストの連携
- (3) これからの学習支援のあり方
- (4) 歴史に学ぶ



# 不登校児童・生徒の実態

## 【小学校】

| 区分(年度) | 不登校児童数(前年度比)         |
|--------|----------------------|
| 2020年度 | <u>63,350名(+19%)</u> |
| 2019年度 | 53,350名(+19%)        |
| 2018年度 | 44,841名(+28%)        |

## 【中学校】

| 区分(年度) | 不登校生徒数(前年度比)         |
|--------|----------------------|
| 2020年度 | <u>132,777名(+4%)</u> |
| 2019年度 | 127,922名(+7%)        |
| 2018年度 | 119,687名(+10%)       |

(令和2年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」  
文部科学省初等中等教育局児童生徒課(令和3年10月13日))

- 小学生は6万3千人超，中学生は13万2千人超
- ここ10年間の高止まり状況から小学校を中心に再び増加傾向
- 小学生は100人に1人，中学生は24人に1人が不登校
- 中学校では1クラスに約1～2名の不登校生徒
- 中学校での自学自習用教材が学力保障の支え

# 長期欠席児童・生徒の実態

長期欠席児童・生徒: 不登校、病欠、経済困窮、その他、コロナ禍含む

【小学校】 不登校 63,350名(+19%)

【中学校】 不登校 132,777名(+4%)

| 区分(年度) | 欠席児童数(前年度比)           |
|--------|-----------------------|
| 2020年度 | <u>113,746名(+26%)</u> |
| 2019年度 | 90,089名(+7%)          |
| 2018年度 | 84,033名(+16%)         |

| 区分(年度) | 欠席生徒数(前年度比)          |
|--------|----------------------|
| 2020年度 | <u>174,001名(+7%)</u> |
| 2019年度 | 162,736名(+4%)        |
| 2018年度 | 156,006名(+8%)        |

(令和2年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」  
文部科学省初等中等教育局児童生徒課(令和3年10月13日))

- 小学生は11万3千人超，中学生は17万4千人
- 新型コロナウイルスの影響により，小学校において  
大幅な長期欠席児童の増加
- 小学生は56人に1人，中学生は19人に1人が長期欠席
- 中学校では1クラスに約2名の長期欠席生徒
- 小・中学校の双方で教科の自学自習用教材が必要

# 不登校・長期欠席児童・生徒の実態

| 学校種別 |        | 小学校    |        |        |        |        |        |        | 中学校    |        |        |         |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
|      | 学年     | 1年生    | 2年生    | 3年生    | 4年生    | 5年生    | 6年生    | 合計     | 1年生    | 2年生    | 3年生    | 合計      |
| 不登校  | 2019年度 | 2,744  | 4,549  | 6,715  | 9,466  | 13,282 | 16,594 | 53,350 | 34,324 | 45,327 | 48,271 | 127,922 |
|      | 2020年度 | 3,395  | 5,335  | 8,028  | 11,108 | 15,603 | 19,881 | 63,350 | 35,998 | 48,723 | 48,056 | 132,777 |
|      | 前年度比   | 123.7% | 117.3% | 119.6% | 117.3% | 117.5% | 119.8% | 118.7% | 104.9% | 107.5% | 99.6%  | 103.8%  |

|      |        |        |        |        |        |        |        |         |        |        |        |         |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|---------|
| 長期欠席 | 2019年度 | 6,983  | 9,386  | 12,054 | 15,556 | 20,589 | 25,521 | 90,089  | 44,225 | 57,655 | 60,856 | 162,736 |
|      | 2020年度 | 9,134  | 11,982 | 15,336 | 19,578 | 25,017 | 32,699 | 113,746 | 47,955 | 63,649 | 62,397 | 174,001 |
|      | 前年度比   | 130.8% | 127.7% | 127.2% | 125.9% | 121.5% | 128.1% | 126.3%  | 108.4% | 110.4% | 102.5% | 106.9%  |

|          |        |   |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |
|----------|--------|---|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 前年度から不登校 | 2019年度 | — | 1,417  | 2,429  | 3,768  | 5,898  | 8,345  | 21,857 | 9,804  | 25,873 | 34,171 | 69,848 |
|          | 2020年度 | — | 1,609  | 2,843  | 4,427  | 6,553  | 9,351  | 24,783 | 10,909 | 27,376 | 34,014 | 72,299 |
|          | 前年度比   | — | 113.5% | 117.0% | 117.5% | 111.1% | 112.1% | 113.4% | 111.3% | 105.8% | 99.5%  | 103.5% |

- 不登校・長期欠席児童とともに、**小学校の全ての学年での増加が顕著**
- 小学生は**1年生**，中学生は**2年生が最大の増加**
- 小学校低・中学年での，**前年度から不登校率が増加**
- 長期休校等の影響に対して**小学校での特別な手立て**

# 近畿二府四県長期欠席小学生実態

赤字は「その他」内の新型コロナウイルスによる感染回避数

| 小学校                                                    |      |         | 実数    |       |       |       |       | パーセント |       |       |       |       |
|--------------------------------------------------------|------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 府県                                                     | 年度   | 児童数     | 不登校   | 病気    | 経済的理由 | その他   | 欠席合計  | 不登校   | 病気    | 経済的理由 | その他   | 欠席合計  |
| 滋賀県                                                    | 2018 | 82,364  | 620   | 234   | 0     | 325   | 1,179 | 0.75% | 0.28% | 0.00% | 0.39% | 1.43% |
|                                                        | 2019 | 81,897  | 737   | 267   | 0     | 285   | 1,289 | 0.90% | 0.33% | 0.00% | 0.35% | 1.57% |
|                                                        | 2020 | 81,372  | 856   | 274   | 144   | 471   | 1,601 | 1.05% | 0.34% | 0.00% | 0.58% | 1.97% |
| 京都府                                                    | 2018 | 128,346 | 722   | 401   | 0     | 607   | 1,730 | 0.56% | 0.31% | 0.00% | 0.47% | 1.35% |
|                                                        | 2019 | 126,431 | 970   | 276   | 0     | 599   | 1,845 | 0.77% | 0.22% | 0.00% | 0.47% | 1.46% |
|                                                        | 2020 | 124,823 | 1,200 | 313   | 172   | 884   | 2,397 | 0.96% | 0.25% | 0.00% | 0.71% | 1.92% |
| 大阪府                                                    | 2018 | 440,165 | 3,098 | 2,868 | 0     | 1,920 | 7,886 | 0.70% | 0.65% | 0.00% | 0.44% | 1.79% |
|                                                        | 2019 | 435,857 | 3,458 | 3,123 | 0     | 2,566 | 9,147 | 0.79% | 0.72% | 0.00% | 0.59% | 2.10% |
|                                                        | 2020 | 430,735 | 4,508 | 2,268 | 852   | 2,850 | 9,626 | 1.05% | 0.53% | 0.00% | 0.66% | 2.23% |
| 兵庫県                                                    | 2018 | 291,285 | 1,893 | 972   | 0     | 742   | 3,607 | 0.65% | 0.33% | 0.00% | 0.25% | 1.24% |
|                                                        | 2019 | 288,556 | 2,358 | 936   | 0     | 711   | 4,005 | 0.82% | 0.32% | 0.00% | 0.25% | 1.39% |
|                                                        | 2020 | 285,174 | 2,847 | 681   | 315   | 1,076 | 4,604 | 1.00% | 0.24% | 0.00% | 0.38% | 1.61% |
| 奈良県                                                    | 2018 | 69,369  | 428   | 389   | 0     | 481   | 1,298 | 0.62% | 0.56% | 0.00% | 0.69% | 1.87% |
|                                                        | 2019 | 68,361  | 650   | 322   | 0     | 294   | 1,266 | 0.95% | 0.47% | 0.00% | 0.43% | 1.85% |
|                                                        | 2020 | 67,261  | 755   | 233   | 81    | 392   | 1,380 | 1.12% | 0.35% | 0.00% | 0.58% | 2.05% |
|                                                        | 2018 | 46,525  | 263   | 121   | 0     | 164   | 548   | 0.57% | 0.26% | 0.00% | 0.35% | 1.18% |
| *「その他」の具体例                                             |      |         |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
| ア 保護者の教育に関する考え方、無理解・無関心、家族の介護、家事手伝いなどの家庭の事情から長期欠席している者 |      |         |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
| イ 外国での長期滞在、国内・外への旅行のため、長期欠席している者                       |      |         |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
| ウ 連絡先が不明のまま長期欠席している者                                   |      |         |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
| ※ 本集計では新型コロナウイルスによる感染回避数含む                             |      |         |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |

# 近畿二府四県長期欠席中学生実態

赤字は「その他」内の新型コロナウイルスによる感染回避数

| 中学校                                                    |      |         | 実数    |       |       |       |        | パーセント  |       |       |       |       |
|--------------------------------------------------------|------|---------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|
| 府県                                                     | 年度   | 生徒数     | 不登校   | 病気    | 経済的理由 | その他   | 欠席合計   | 不登校    | 病気    | 経済的理由 | その他   | 欠席合計  |
| 滋賀県                                                    | 2018 | 41,104  | 1,394 | 287   | 0     | 276   | 1,957  | 3.39%  | 0.70% | 0.00% | 0.67% | 4.76% |
|                                                        | 2019 | 40,855  | 1,403 | 315   | 0     | 248   | 1,966  | 3.43%  | 0.77% | 0.00% | 0.61% | 4.81% |
|                                                        | 2020 | 40,844  | 1,415 | 343   | 78    | 0     | 374    | 2,132  | 3.46% | 0.84% | 0.00% | 0.92% |
| 京都府                                                    | 2018 | 67,145  | 2,278 | 512   | 0     | 446   | 3,236  | 3.39%  | 0.76% | 0.00% | 0.66% | 4.82% |
|                                                        | 2019 | 66,972  | 2,430 | 540   | 0     | 428   | 3,398  | 3.63%  | 0.81% | 0.00% | 0.64% | 5.07% |
|                                                        | 2020 | 66,992  | 2,610 | 590   | 58    | 0     | 457    | 3,657  | 3.90% | 0.88% | 0.00% | 0.68% |
| 大阪府                                                    | 2018 | 225,978 | 8,316 | 3,273 | 0     | 1,466 | 13,055 | 3.68%  | 1.45% | 0.00% | 0.65% | 5.78% |
|                                                        | 2019 | 222,907 | 9,022 | 3,062 | 1     | 1,313 | 13,398 | 4.05%  | 1.37% | 0.00% | 0.59% | 6.01% |
|                                                        | 2020 | 221,736 | 9,817 | 2,810 | 416   | 0     | 1,526  | 14,153 | 4.43% | 1.27% | 0.00% | 0.69% |
| 兵庫県                                                    | 2018 | 146,255 | 5,971 | 1,412 | 0     | 482   | 7,865  | 4.08%  | 0.97% | 0.00% | 0.33% | 5.38% |
|                                                        | 2019 | 144,512 | 6,362 | 1,352 | 0     | 450   | 8,164  | 4.40%  | 0.94% | 0.00% | 0.31% | 5.65% |
|                                                        | 2020 | 143,864 | 6,700 | 1,344 | 164   | 0     | 607    | 8,651  | 4.66% | 0.93% | 0.00% | 0.42% |
| 奈良県                                                    | 2018 | 37,289  | 1,243 | 362   | 0     | 407   | 2,012  | 3.33%  | 0.97% | 0.00% | 1.09% | 5.40% |
|                                                        | 2019 | 36,780  | 1,470 | 387   | 2     | 180   | 2,039  | 4.00%  | 1.05% | 0.01% | 0.49% | 5.54% |
|                                                        | 2020 | 36,628  | 1,594 | 375   | 81    | 1     | 211    | 2,181  | 4.35% | 1.02% | 0.00% | 0.58% |
|                                                        | 2018 | 24,683  | 789   | 214   | 0     | 93    | 1,096  | 3.20%  | 0.87% | 0.00% | 0.38% | 4.44% |
| *「その他」の具体例                                             |      |         |       |       |       |       |        |        |       |       |       |       |
| ア 保護者の教育に関する考え方、無理解・無関心、家族の介護、家事手伝いなどの家庭の事情から長期欠席している者 |      |         |       |       |       |       |        |        |       |       |       |       |
| イ 外国での長期滞在、国内・外への旅行のため、長期欠席している者                       |      |         |       |       |       |       |        |        |       |       |       |       |
| ウ 連絡先が不明のまま長期欠席している者                                   |      |         |       |       |       |       |        |        |       |       |       |       |
| ※ 本集計では新型コロナウイルスによる感染回避数含む                             |      |         |       |       |       |       |        |        |       |       |       |       |

# 不登校・ひきこもり・ニート調査概要

調査対象: 全国の13歳から29歳までの男女 N=10,000

13～14歳:1,120, 15～19歳:2,903, 20～24歳:2,884, 25～29歳:3,093

調査時期: 令和元年11月1日から12月2日

調査方法: インターネット調査

調査目的: 子供・若者を取り巻く諸課題に対し、子供・若者がどのように考えているのか、また、政府、地方自治体、民間団体等による子供・若者育成支援施策について、施策の当事者である子供・若者がどのように考えているのか、どのような施策を期待しているのかなどを把握し、今後の企画立案に資すること

・**不登校**: 年度間に連続又は断続して30日以上欠席した生徒のうち何らかの心理的, 情緒的, 身体的, あるいは社会的要因・背景により, 登校しないあるいは登校したくてもできない状況にあること(ただし, 病気や経済的な理由によるものを除く)。

・**ひきこもり**: ふだんほとんど外出をしない(自室からほとんど出ない, 自室からは出るが家からは出ない, 近所のコンビニなどには出かける, 趣味の用事の時だけ外出する)状態が, 6カ月以上であること。ただし, 身体的病気や自宅での仕事のため外出できない場合は除きますが, 妊娠, 出産, 育児, 家事, 看護, 介護などのために外出せず, 家族以外とほとんど会話もしていない場合は含みます。

・**ニート**: 就労していない。また, 仕事を探しておらず, 家事も通学もしていないこと。(15歳以上の方)

# 不登校・ひきこもり・ニート調査結果

|       | 13-14 歳<br>N=1,120 | 15-19 歳<br>N=2,903 | 20-24 歳<br>N=2,884 | 25-29 歳<br>N=3,093 |
|-------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 不登校   | 4.8%               | 17.5%              | 16.6%              | 12.9%              |
| ひきこもり | 1.8%               | 11.5%              | 14.6%              | 13.5%              |
| ニート   | 0.0%               | 6.4%               | 15.5%              | 21.9%              |

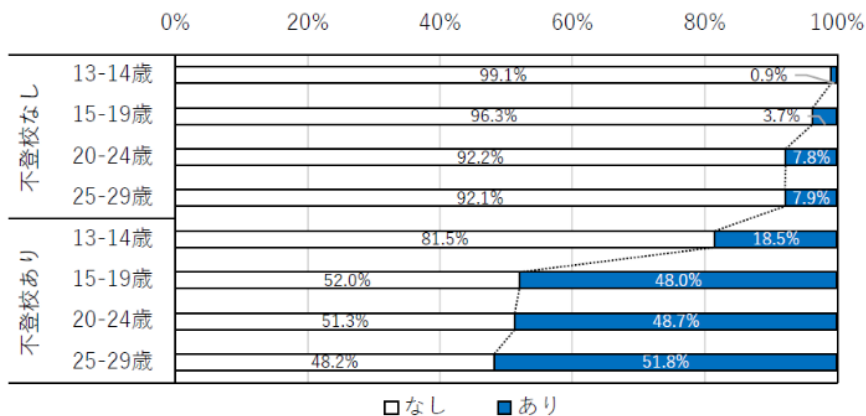


図3 年代別の不登校とひきこもりの関係

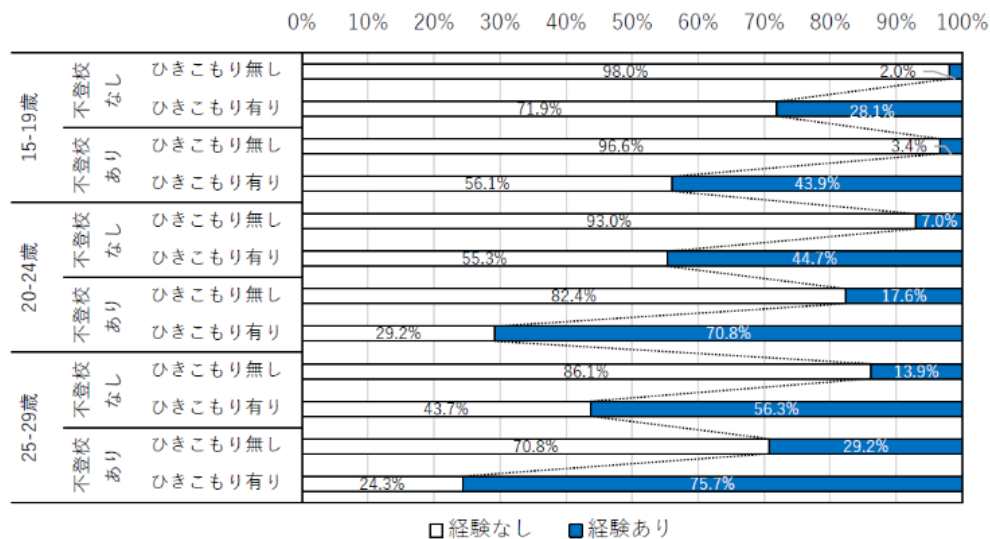


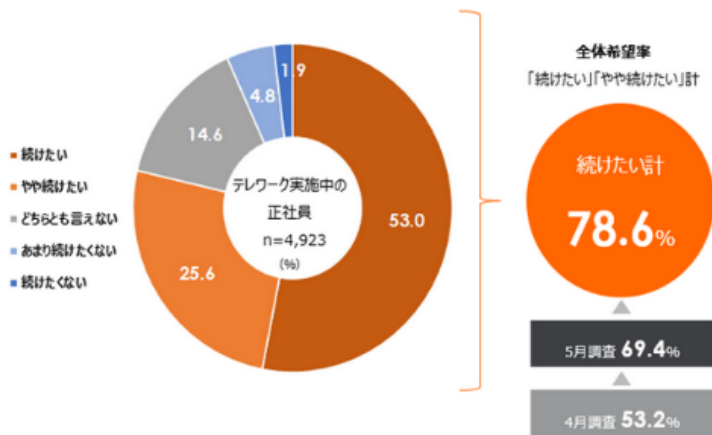
図10 不登校・ひきこもりとニートの関係

# テレワーク実施状況調査

|       |                                                                        |
|-------|------------------------------------------------------------------------|
| 調査内容  | 新型コロナウイルス対策によるテレワークの実態・課題について、新型コロナウイルス「第3波」の感染拡大がみられる時点での状況を定量的に把握する。 |
| 調査手法  | 調査会社モニターを用いたインターネット定量調査                                                |
| 調査期間  | 2020年11月18日～11月23日                                                     |
| 調査対象者 | 全国の就業者 20～59歳男女、勤務先従業員人数10人以上正規雇用<br>N=19,946                          |

図表 4. コロナ収束後のテレワーク継続希望率

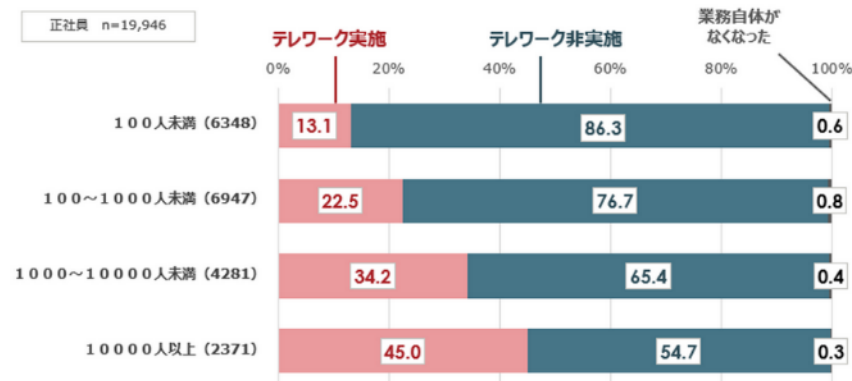
コロナウイルスが収束した後も、テレワークを続けたいですか。続けたくないですか。(単一回答)



性年代別 (希望率・%)

|       |        |      |
|-------|--------|------|
| 男性20代 | (489)  | 77.3 |
| 男性30代 | (896)  | 81.1 |
| 男性40代 | (1064) | 77.5 |
| 男性50代 | (1019) | 74.2 |
| 女性20代 | (343)  | 77.9 |
| 女性30代 | (393)  | 86.0 |
| 女性40代 | (412)  | 82.1 |
| 女性50代 | (306)  | 79.0 |

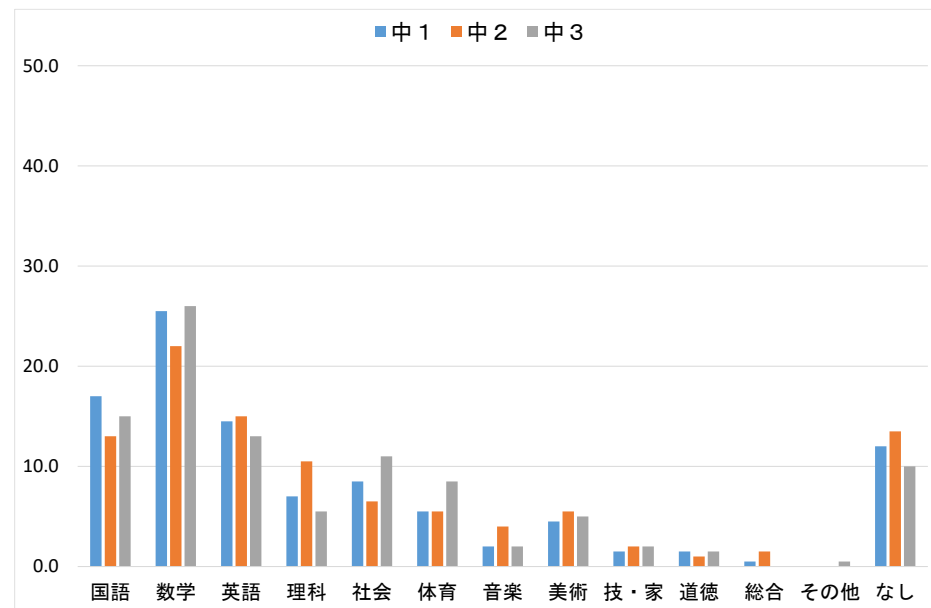
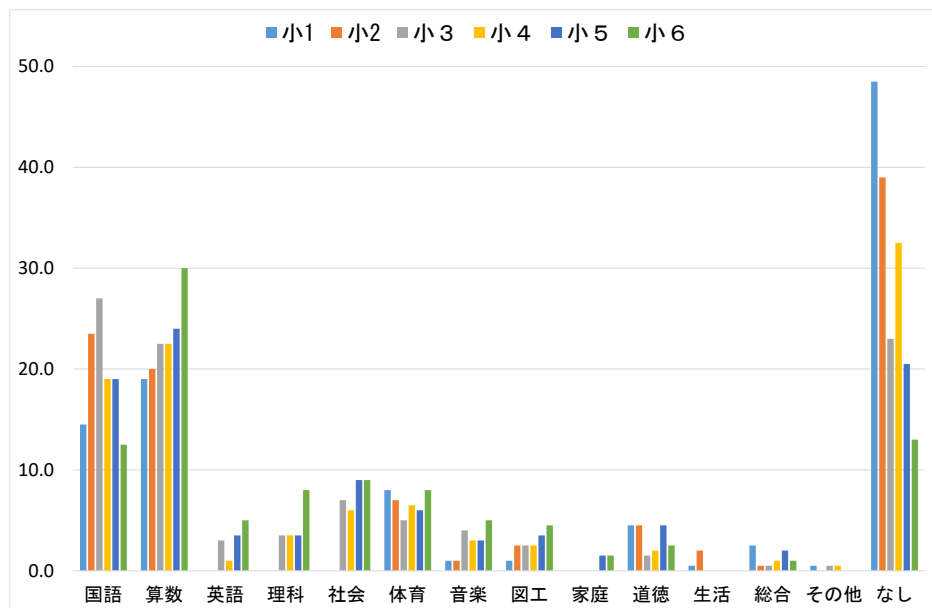
図表 2. 企業規模別 (従業員数別) のテレワーク実施率





# 一番嫌いな教科

|       |                                                     |
|-------|-----------------------------------------------------|
| 調査内容  | 小学生・中学生の日常生活に関する調査                                  |
| 調査手法  | インターネット調査                                           |
| 調査期間  | 2020年8月26日～8月31日                                    |
| 調査対象者 | 小学1年生から中学3年生まで各学年(男子100名, 女子100名, 計200名)<br>N=1,800 |
| 調査項目  | 一番嫌いな教科は何ですか。                                       |



# アウトライン

- (1) テキストを作成したわけ
- (2) 算数動画とテキストの連携
- (3) これからの学習支援のあり方
- (4) 歴史に学ぶ

# 歴史に学ぶ

- ◆1952年 大学受験ラジオ講座開始(旺文社)  
大学受験教育の地域・経済格差をラジオ放送を通じて解消
- ◆1969年 セサミストリートテレビ番組開始  
就学前教育の充実を緊急課題としていたアメリカの国家としての要請で誕生したテレビ番組
- ◆2012年 MOOC[Massive Open Online Course]開始  
世界の大学がインターネット無料講座を公開し、最終課題に合格した受講者には修了証が授与
- ◆2016年 多言語対応算数・数学動画コンテンツ開始  
急増する外国人の子ども、不登校の子どもの学習支援を目的としたYouTube動画